

波紋

平成14年

8

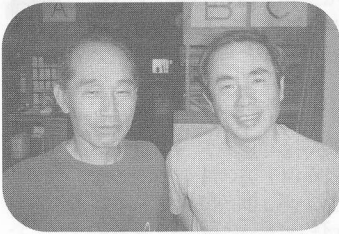
AUG No.206

EDITOR：梅田文康

PUBLISHER：森松株式会社

今回メンバー編成して（ひまわり、レモン）サークルが合体してユニティーとして発足し、1回目の改善発表で横山が発表を努めさせて頂きました。

今回の発表で体重が2～3kg減ったかな…？ それもそのはず、今回成瀬君のビデオの編集の件で拘って拘って連日2夜、夜なべ。梅田君にいたっては、パワーポイントを自ら学校へ行き勉強するなど。また、土田さんにいたっては、夜遅く迄サークルの打ち合わせに付き合うなどやる気満々。チカさんや、村田さん 大橋君のアドバイスも力強いものがあり、チームワークも最高潮の中で（発表者）横山がズッコケたら皆に申し訳無い気持ちに常があり、発表会1週間前ぐらいからプレッシャーの毎日でした。



喜びの土田さんと横山さん

練習なんてあまりした事が無い私ですが今回は練習をやらずにはいられ無い状況の中、本番



を迎え自信を持って望んだのが結果につながった事と思います。チーム一丸となって取り組んだチームのメンバーの皆さんお疲れ様。また、今回の発表テーマが倉庫レボリューション21（倉庫革命）まさしく倉庫の5Sこれは営業の皆さん、アシスタント皆さんの汗と汚れの成果でもあります。有難うございました。今後も改善発表の為の発表で無く、真の改善を（効果がでる改善）行い継続して行きます。

横山 敏秋（ユニティー）

審査員：オカモト(株) 津田様 明和グラビア(株) 平出様
ありがとうございました。



社長 森 直樹

同じに捉えることが出来ないものかと考えさせられる、そんなひと時でした。

先日、日本一時帰国前に中国は成都・上海と経由しました。丸一年以上ぶりの訪問で、成都是空港が全面的に改修され、高速道路が増設され、といった変化があり、また上海も同じく外見上の変化はめまぐるしくまだまだ成長する国、中国をそのままに表していました。

上海にて中国人の友人S君と再会し、一緒に食事しました。彼は大学卒業後日系商社に10ヶ月勤め、その後友人の紹介により、中外合資の情報通信系企業に転職。彼との会話のほとんどは日本語で行われ、3年ほどの経験にもかかわらず、S君はかなり流暢な日本語を操ります。日系企業での経験を通して彼いわく、年功序列制が理解し難いものであり、「年収20万ドルも受け取っている某企業駐在員が日本では居場所が無いので日本に戻されることを恐れている。」「日系企業の就職は簡単。募集要項を、欧米企業と比べれば、日系企業は日本語能力検定一級、二級などの資格が有れば良い。それに対して欧米企業なら英語の能力はもちろんの事、5年10年の実務経験を要求される。だからそのうち英語も覚えて、自分の能力を生かせる欧米企業に入りたい。」…等等。話をしながら、私は改めて日本の企業の特異さを知らされました。また彼のキャリアに対する考え方が、優秀な人材は自分を高く買ってくれるところを探して移動する、というアメリカのそれと近く、絶えず自分の能力を高めること、現状に満足しないハングリーさが伝わってきました。

海外の影響を絶対に無視できない状況下、逆に海外からの人材を戦力として活用すること、また海外を市場として、商品供給先としてつつまり国内と同じに捉えることが出来ないものかと考えさせられる、そんなひと時でした。

森松USA「中国にて」

『敵を知る』

名著「菊と刀」の出版元が倒産しました。30年以上前に読んだ憶えが蘇ってきました。アメリカの文化人類学者、ルース・ベネディクト女史は、日本を「恥じの文化」と規定して、西洋の「罪の文化」と対比して日本人論を語った事で有名。当時、まだ第二次世界大戦中、アメリカ政府は日本占領後を想定し、敵国の国民性を知るために学者を動員しました。つまりドイツと日本との戦争後の占領政策の必要性から生まれたものである。彼女は日本を訪れることなく研究をまとめ「日本人はアメリカがこれまで戦った敵の中で、最も気心の知れない敵だ」と報告しています。中国・孫子の兵法に「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」とあります。「菊と刀」は敵を知るための研究書です。これに対し日本は、英語を敵国語として禁止、外国語を読む者を非国民として取り締まりました。「敵を知る」事はご法度だったのです。日本が敗戦したことに納得できる理由ですね。

日本人の海外渡航者が多くなり出かけることは大変良い事ですが、友好・親善・買い物だけでなく、もつと相手国のことを知ってから出かけるほうがより楽しくなると思います。私も今まで以上に海外で仕事をしようと考えています。それに向けて世界に通用する商品造りにこれからも邁進したいです。

今年の夏休みは9連休+2日で11日!!!みなさんの将来を見据え意義ある夏休みをお過ごしください。



森 信之

『異常気象』

今年には異常気象のせいなのか上空の気流のせいなのか詳しいことは解りませんが、7月に台風が連続的に発生し、しかもそれが日本に大きな被害をもたらしておりませぬ。昔は7月の台風は西にそれて、どちらかというところ朝鮮半島方面に流れていくというのが普通で、日本の台風シーズンといえば「9月」というのが一般的でしたが、それは過去の常識なんではないかと。

とにかく何が起きてもおかしくない、といわれている時代ですから、気象も多少異常なのがあたりまえと普通に思ってしまった所が最近ありますよね。今年の初めころに流行った本で「ライオンは眠れない」という本がありました。(今も本屋さんにはありますが、今では「ちよつとはずれたな」という部分がありますので、以前ほどの評価はないかもしれませぬ。)ライオンとは「小泉首相」であり、テーマは「破壊」です。新しい時代の創造には「破壊」が伴なう。そして近い将来にそれが実行される、という内容です。デノミ、預金封鎖、財産税導入という破壊を意味する言葉が羅列されていますが、現実的なものとして理解しきれずにいます。「何が起きてもおかしくない時代」ですから可能性はゼロではないかもしれません。実際に昭和二年と終戦直後と昭和だけでも二回行なわれたことがある政策ださうです。でもねえ、この本「チーズ」の模倣で小泉人気を意識した「売ればめっけもの」の臭いが強すぎるなあ。



牧野 光昌 (プロジェクト⑩)

『丹後倉庫の整理整頓』

ここ2ヶ月余り、丹後倉庫の2Fの整理整頓に力を集中させてきました。品物は営業さんの担当者在庫品と中国品の常備在庫と森松産業(株)のものが主でした。先ず一番北側の空き部屋(元の縫製場)から片付け始め、特販部の在庫置場を作り、続いてダンボール置場を確保し、常設の在庫棚の整理と進めました。営業さんには朝礼後の20〜30分で自分達の商品の確認と表示を4〜5回してもらい、とても助かりました。ほんとうに御協力ありがとうございました。

あと続いて中国品及び、産業さんの商品の移動、又、新しく棚も作ったりして、商品を立体化し、空間を少なくして正に整理整頓(要るものと要らないものの仕分け)をしたらなんと今までの半分位の広さに収まって見違えるようになりました。ここまで出来たのは、倉庫担当と総務経理の改善チームの「ユニティ」だけでなく、皆さんが協力して下さったお陰です。本当に感謝しています。ありがとうございました。

今後引き続き1Fの倉庫も片付けに入ります。また、皆さんに応援を求めるところとなりますがよろしくお願います。



森 ちか(ユニティ)

「トヨタはどこまで強いのか」

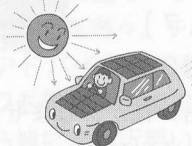
日経ビジネス編

この本は、世界を代表する「勝ち組」企業、トヨタ自動車(以下トヨタ)の強さは、いったい何によってもたらされているのか? その強さの秘密を解剖して日本企業復活の糸口を見出そうと、経営陣から現場まで、生の声を通してトヨタの強さを浮かび上がらせた本である。

本編は四つの章に分けて、「トヨタ流経営」を紹介しているが、全章を通して書かれているトヨタが守り続けている事は、

◇どんな状況ですらトップが危機意識を継承し、持ち続けていること。

◇問題解決中毒と言えるほどの徹底した問題解決への取り組み。



この二つである。現在、トヨタは誰もが認める自動車業界の「勝ち組」で、それでも経営陣は、非常に強い危機感を持っている。その危機感とは、850cc級エンジ

ンを積んだ新しい乗用車開発研究や、F1参戦などに現れている。850cc構想からは、軽自動車と排気量が少し異なるだけで価格も燃費も変わらない小型車が出現したらどうなるか? 「小さな車」でのシェアは、一気に高まるだろう。そしてそこには、トヨタと並び、自動車メーカーの「勝ち組」とされる「軽の王者」スズキつぶしの計略がある。

また、トヨタの目下の課題の一つに、20代の若い顧客をつかみ切れていないことがあげられるが、F1参戦は、若者受けする「スポーティー」なブランドイメージを築き上げようという狙いがある。しかし、日本には、ホンダという日本を代表するF1の盟主が存在する。トヨタは、この「F1はホンダ」というイメージをどのようにして覆すことができるのか? トヨタは、モータースポーツの技術・ノウハウ・ブランドイメージを手に入れるべく、F1参戦経験もあるヤマハ発動機に資本参加した。そして、富士スポーツウェイも傘下に収めた。つまり、自ら持つサーキット場でF1を開催することによって、「スポーティー」なブランドイメージをホンダから

奪い取ろうとしているのだ。

国内販売台数40%を超えるシェアを確保しながら、このトヨタの露骨なまでのライバルつぶしに関して、トヨタの奥田会長は、「会社なんて、いつつぶれるか分からない。そういう危機感を持っていないと駄目だ。シェアでもはやされていい気になっているような会社はつぶれる。また、トヨタ車が売れているという実感は無い。ホンダは怖いし、日産も復活する。」と言う。異常なまでの危機感。しかし、この危機感にこそトヨタの強さが隠れているのではないと思う。そして、この危機感の維持は、徹底した問題解決への取り組みにつながっていく。

トヨタの長い歴史の中で、「隠れた英雄」として、語り継がれる大野耐一。現場主義をモットーとしていた彼の口癖は、「なぜ」を五回繰り返せ」という。モーリン語録にもある言葉だが、これは、何かトラブルが起きた場合に、不具合の発生箇所だけに目を向けるのではなく、異常を引き起こしている真の原因、つまり「真因」にたどり着くまで「なぜそうなったのか」徹底的に考えよという意味だ。この大野の教えを直接受けたトヨタ自動車技監である林南八は、「競争があり、危機感があるからこそ、改善は無限にある。先が見えるからこそ軌道修正の必要がある。」という。

ここ2、3年を見て、今まで苦手分野だった若年層でのシェアも「ファンカーゴ」・「bB」といった人気車種の発売で掴み取り、また、化石燃料の制約・二酸化炭素排出量の規制等、現代社会が抱える環境問題への対応にもハイブリッド車「プリウス」での取り組みなど、やはり、自動車業界をリードする存在のトヨタ。しかし、この順風満帆に見えるトヨタの快進撃の根底に隠されていたものは、今期、日本初の連結経常利益一兆円を達成し、確固たる「勝ち組」の座に君臨しながらも、持ち続ける危機意識と、徹底した問題解決への取り組みだったのではないだろうか。

この本を読んで、人は危機意識を持って生きていけば、向上心を常に持ち、必ず成長していけると強く思った。

梅田 文康(ユニティー)



『映画』

最近、感動したことあるかと友達に聞かれ、何を突然聞くのか? 返答にこまらま考えた。答えが見出せないまま考えていると彼が、一枚の広告を私に渡ししました。見ると、アイ・アム・サムと書いてあり映画の広告とすぐにわかりました。感動したいなら鑑賞することを勧められ見えてしまいました。親と子の絆を描いた内容で、大変感動でき心に残りました。いい時間がすごせてよかったです。劇場は上映が終わってしまっていると思いますがレンタルビデオで皆さん見て下さい。

あと夏の大作映画といえ、メン・イン・ブラック、スターウォーズ/エピソードII、タイムマシンどれも、SFばかりですが私の注目はタイムマシンです。80万年も一気に旅をする内容でどんな世界が飛び出すか? 楽しみにしています。それでは皆さん映画館で会いましょう。

松井 宣和
(レインボー)

2002年

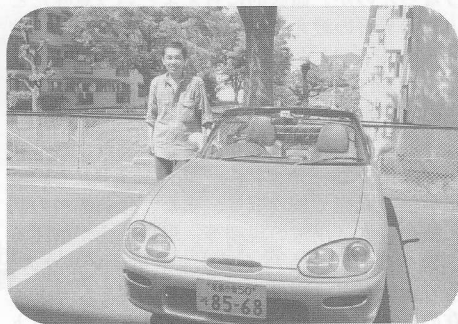
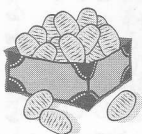
8月の予定



31日(土)	30日(金)	26日(月)	24日(土)	26日(月)~	23日(金)	23日(金)	18日(日)	15日(木)	14日(水)	10日(土)	18日(日)	10日(土)	9日(金)	5日(月)	3日(土)	2日(金)
第五土曜休み	名古屋ドーム	生産会議	第四土曜休み	編集会議	生産会議	経営会議	小坂さん誕生日	近藤譲さん誕生日	福重さん誕生日	松本さん誕生日	夏季休暇	時局講演会	誕生会	誕生会	第一土曜休み	青経塾30周年
		18時30分~		17時45分~		7時45分~										
					四川義信文化用品公司											成都展示会

あなたのお宝拝見

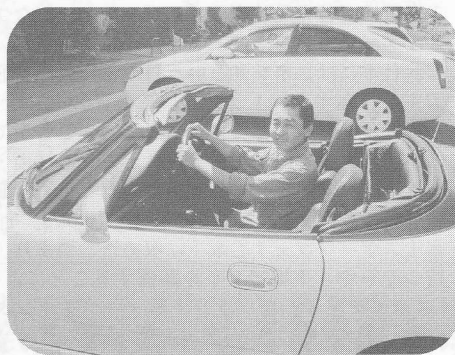
「我が、カプチーノ」 伊藤 雅典 (ドリーム7)



あたる狭さ。バカとしか言い様がありませんが、私はこの車が気に入っているのです。

バブル全盛期にスズキ自動車が生産したこの車。なかなかの出来です。もうこの車に5年ほど乗っていますが、まったく飽きが来ません。(ほんとは次の車を買えず、自分を納得させているのですが…) あちこち修理だらけのボロ車ですが、私のお宝です。

コーヒーの名前ではありません。前にも書いたような、言ったような…。2シーターオープン軽自動車。これも書いたような…。初年度登録平成4年、走行距離10万キロのオンボロ車です。前部、後部もぶつけられ塗装し直してないのは左右ドアだけ。クラッチ交換、ローギア、セカンドギア交換。ここまで直して軽自動車に乗る方が見えるのでしょうか。乗り込む時は腰を低くしないとイケないし、座ったら肘がドアに



編集後記

暑い日が続き、つい冷たい物ばかり食べたり飲んだりしてしまいます。夏バテをしない為にも、汗をかきながら熱い物を食べるのもいいかもしれません。



夏といえば、花火大会や夏祭りなど楽しい事があると思います。毎年、友人と夏祭りに出かけるのですが、その度に浴衣を着るか着ないか悩んでしまいます。結局、毎年着ることなく、ここ何年かタンスの奥にねむったままなので、久しぶりに今年は着てみようかなと思います。



小坂 美香 (ドリーム7)